

## 中央病院のトピックス

平成25年2月7日

鳥取県立中央病院

## ～ 目次 ～

1 新救命救急センターの機能向上・・・P.1	6 院内保育所の開設・・・P.2
2 周産期母子医療センターの機能向上・・・P.1	7 DMAT専用車両の導入・・・P.2
3 CT320列の導入・・・P.2	8 非常用電源設備の整備・・・P.3
4 IVR-CTの導入・・・P.2	9 検査室におけるFMS方式の開始・・・P.3
5 MRI(3T)の導入・・・P.2	

## 【診療機能の向上】

## 1 新救命救急センターの機能向上

- (1) 概要 現在病棟3階にある救命救急センターの機能を1階と3階に分化し、外部からの救急患者及び院内で重篤化した患者の診療体制の強化を図るもの。

〔主な事業内容〕

- 救命救急センターの改修（機能分化）

現在	改修後
救命救急センター（3階） 【20床】	救命救急部門（1階） 【14床】※外部からの救急患者対応
	ICU・HCU部門（3階） 【16床】

- 救命救急センターの機器整備（CT64列ほか）
  - リハビリ室の移転
- (2) 事業費 525,000千円（予算額（機器購入＋施設整備））  
※鳥取県地域医療再生基金補助金（補助率1/2）を活用
- (3) 稼働時期 平成25年9月予定

## 2 地域周産期母子医療センターの機能向上


- (1) 概要 現在の狭小な新生児集中治療室（NICU）の拡張及び分娩室の改修を行うとともに、新生児治療に必要な機器を整備し、地域周産期母子医療センターの機能向上を図るもの。

〔主な事業内容〕

- NICUの改修（拡張）
  - NICUの機器整備
  - 分娩室の改修（動線改良）
- (2) 事業費 150,000千円（予算額（機器購入＋施設整備））  
※鳥取県地域医療再生基金補助金（補助率1/2）を活用
- (3) 稼働時期 平成25年2月予定

### 3 CT320列の導入

- (1) 概要 新たにCT320列を整備(現有16列の更新)し、県東部圏域において当院が主要な役割を担う心臓疾患診療部門や救命救急部門の機能向上を図るもの。

従前 	整備(更新)後
CT16列…1台	CT320列…1台(H25.3更新予定)
CT4列…1台	CT64列…1台(H24.8更新済)

- (2) 事業費 157,400千円(予算額(機器購入))  
※鳥取県地域医療再生基金補助金(補助率1/2)を活用
- (3) 稼働時期 平成25年3月予定

### 4 IVR-CTの導入

- (1) 概要 新たにCT装置(コンピュータ断層撮影装置)を備えたIVR(血管内治療)-CT装置を整備(現有IVR装置の更新)し、県東部圏域において当院が主要な役割を担うがん診療部門や救命救急部門の機能向上を図るもの。
- (2) 事業費 201,197千円(予算額(機器購入+施設整備))
- (3) 稼働時期 平成25年4月予定

### 5 MRI(3テスラ)の導入

- (1) 概要 新たにMRI3テスラ機1台を整備し、県東部圏域において当院が主要な役割を担う疾病のうち、脳卒中等の脳疾患に係る診療機能の強化を図るもの。あわせて、現在のMRI検査予約待ちを解消し、早期診断による早期発見・早期治療が可能となる環境を整備するもの。(現有1.5テスラ機との2台体制となる。)
- (3) 事業費 266,203千円(予算額(機器購入+施設整備))
- (4) 稼働時期 平成25年9月予定

## 【職場環境の充実】

### 6 院内保育所の開設

- (1) 概要 乳幼児を養育している職員が安心して勤務に従事できる職場環境とするため、院内保育所を開設したもの。
- (2) 運営開始日 平成25年1月4日
- (3) 名称 キッズルームスマイル
- (4) その他
- ・定員 15名
  - ・保育時間 月曜日～土曜日(祝日、年末年始を除く)7:30～21:00  
(一時保育、病児・病後児保育も実施)
  - ・保育年齢 生後57日～小学校就学前
  - ・運営形態 業者委託(受託業者:アートチャイルドケア(株))
  - ・その他 平成25年1月の利用予定者(保護者(=職員))は、看護師4名

## 【大規模災害への備え】

### 7 DMAT専用車両の導入

- (1) 概要 新たにDMAT専用車両を導入し、当院DMAT隊員が災害現場で機能的に活動できる環境を整備したもの。(隊員が休息・仮眠できる装備を備えているため、現地活動の長期化への対応が可能となる。)
- [車両の概要]
- ・定員 8人

- ・装備等 トイレ、発電機、冷蔵庫、衛星携帯電話、電動ウィンチ、酸素ボンベほか
- (2) 事業費 25,935千円(実績額(車両・機器購入))  
※鳥取県地域医療再生基金補助金(補助率1/2)を活用
- (3) 導入時期 平成24年10月



## 8 非常用電源設備の整備

- (1) 概要 現在地下に設置している非常用発電装置が、万一、浸水被害で使用不能となった場合に備え、3階屋上に新たに非常用発電装置を追加整備するもの。
- (2) 事業費 17,819千円(予算額(施設整備))  
※医療施設等施設・設備整備事業費補助金(補助率1/3)を活用(残額は一般会計繰出金措置)
- (3) 稼働時期 平成25年2月予定

○停電時の自家発電の状況

追加整備前			追加整備後		
設置場所	用途	対応期間	設置場所	用途	対応期間
本館地下	本館・外来棟への電源供給	約3日	本館地下	本館・外来棟への電源供給	約3日
屋外	外来棟への電源供給	約3日	屋外	外来棟への電源供給	約3日
			本館3階(北)屋上	本館(3階以上)への電源供給(専ら生命維持機器)	約3日

今回追加整備⇒

## 【経費節減の取組】

### 9 検査室におけるFMS方式の開始

- (1) 概要 現有の検査機器の処理能力では、日々の検体検査件数に対応しきれなくなっていることから、検査体制をFMS方式(※)に改め、検体検査の効率化を図るもの。

※FMS方式

Facility Management Serviceの略称。契約相手(業者)が検査機器、検査試薬、消耗品等を提供し、病院側が病院の職員とスペースを利用して検査を実施する方法。検査の効率的な運用と検査機器及び試薬・消耗品費の削減が図られる。

- (2) 事業費 566,897千円(契約単価×見込数量(5年分))
- (3) 業務委託期間 平成25年4月～平成30年3月(5年)
- (4) 受託業者 (株)ビー・エム・エル鳥取営業所
- (5) 経費削減効果 5年間の想定削減効果額 約176百万円(H22年度まで行っていた検査室機器総合リース方式との比較)